


No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
2	自然	久慈川（日観協 B 級資源） （所在地） 大子町、常陸大宮市、常陸太田市、日立市、那珂市、東海村	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県の最高峰八溝山に発し、福島・茨城両県の山間部を流れ、県北地域から太平洋に注いでいる一級河川で、県土の骨格を形成する代表的な河川です。 ・季節の変化に富んだ渓谷美や鮎の生息数が日本一の豊かな自然に恵まれた清流で、鮎釣り、キャンプやアウトドアなど県民や県外からの人々に親しまれています。 ・流域の市町では、久慈川の自然環境を活用したアユ祭、芋煮会等の様々なイベントが開催される他、流域では行政と地域が一体となって河川清掃等の河川愛護活動が行われています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <p>県土の骨格を形成する久慈川の景観保全にあたっては、河川に接する河畔林等の緑地環境の保全、違反屋外広告物の撤去など河川管理者の国や流域の市町、地域住民が一体となって取り組む必要があります。</p>  <p>久慈川（大子町、常陸大宮市他）</p>
3	自然	奥久慈溪谷エリア ・袋田の滝（日観協 B 級資源・日本三大瀑布） ・久慈川溪谷 ・八溝山地 ・男体山・籠岩 等 （所在地） 大子町	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本三大瀑布のひとつである袋田の滝及び周辺地域は、奥久慈自然公園に位置し、中でも袋田の滝は県を代表する観光地で四季折々の自然景観が楽しめ、県内外から年間約 98 万人の観光客が訪れています。 ・観光拠点地区である袋田の滝周辺地域には、久慈川溪谷、男体山など自然に恵まれ、県土の骨格を形成する自然環境や自然景観を形成しているが、その大部分は奥久慈自然公園の第 2 種・第 3 種及び普通地域に指定され、風致に影響を及ぼす行為は厳しく規制されています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大子町は、地域をあげて袋田の滝を中心に、美しい観光地づくりや自然環境を活かした都市部との交流事業、景観まちづくりに取り組んでいますが、都市部の景観まちづくりや主要幹線道路の沿道土地利用や沿道景観の整備など、県を代表する観光地としての景観まちづくりや屋外広告物等のあり方など、広域景観プランに基づく景観まちづくりや景観資源の活用方策を検討する必要があります。

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
			<ul style="list-style-type: none"> 特に、観光拠点である袋田の滝周辺では、普通地域内の幹線道路からアクセスするルート of 道路景観整備や違反屋外広告物の撤去など、地域と一体となって本県を代表する観光地としてのイメージアップに寄与する景観まちづくりが必要と考えられます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>袋田の滝 (大子町) つつじヶ丘からの男体山 (大子町)</p>
4	歴史	西山荘周辺・田園エリア <ul style="list-style-type: none"> 西山荘 (日観協B級資源) 瑞竜山 西山公園 周辺の歴史資源、歴史的な街並み等 旧水府村 (御所内) のそば畑 (美しい日本のむら景観100選) (所在地) 常陸太田市	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水戸徳川家と縁の深い西山荘を中心に、瑞竜山と西山公園、久昌寺の五重塔、周辺の歴史的な街並みは本県を代表する景観資源です。また、「美しい日本の村 100 選」に選ばれた御所内地区及び金砂郷地区のそば麦畑の里山景観は日本の原風景を思わせるグリーンツーリズムの主要資源です。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的景観資源と田園景観との連携を図り、観光振興や地域振興につながる景観資源の活用方を検討する必要があります。 一方、都市部にあっては、常陸太田の玄関口にあたる JR 常陸太田駅周辺の駅前再開発や安全に配慮した歩行空間の整備、商店街の活性化などの再開発に併せた景観まちづくりを検討する必要があります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>西山公園 (常陸大宮市) そば麦畑の農村景観 (常陸大宮市)</p>
5	自然	那珂川 (日観協 B 級資源) (所在地) 城里町、常陸大宮市、那珂市、水戸市、ひたちなか市、大洗町	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栃木県那須岳を源流とし、本県のほぼ中央部を南東に流れ、丘陵と平野部の境を分断するように流れ、常陸大宮市、水戸市などを経て太平洋に注いでいる関東第3の河川、関東随一の清流として広く県民に親しまれ、県土の骨格を形成する代表的な広域景観です。

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
			<ul style="list-style-type: none"> ・サケの遡上する河川として有名です。また、鮎釣り、キャンプやアウトドアなどに利用され、県内外の観光客、自然愛好家に親しまれています。 ・流域では、毎年夏に御前山納涼花火大会が開催される他、流域の住民や都市部の人々との交流イベント、河川の水質浄化や河川美化の啓蒙を図るイベントが国や地元自治体と一体となって開催されるなど河川愛護活動も盛んです。 <p>【広域景観づくりの方向性】 県土の骨格を形成する広域景観を保全していくためには、河川に接する河畔・丘陵地の緑地環境の保全、違反屋外広告物の排除など河川管理者である国や流域の行政、地域住民等が一体となって取り組む必要があります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>県立自然公園と那珂川（城里町） 那珂川（常陸大宮市）</p>
6	自然	大洗海岸エリア <ul style="list-style-type: none"> ・大洗海岸 ・大洗サンビーチ ・大洗の松林 (所在地) 大洗町	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗海岸を中心に、阿字ヶ浦海岸、平磯海岸、夏海海岸等は、大洗県立自然公園に位置し、白砂青松と男性的な海岸が広がり、県の天然記念物に指定された中生白亜紀層が見られるなど県を代表する自然景観が形成されています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然公園の背後に広がる大洗町市街地では、主要幹線道路沿いの屋外広告物や建物等が無秩序に立地し、地域のイメージを阻害する景観破壊が見られるなど、美しい海岸景観と調和した景観まちづくりを推進していくために、景観形成基準、景観ガイドラインを検討、主要幹線道路沿いの違反屋外広告物の排除等について、地域と一体となって取り組んでいく必要があります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>神磯の鳥居と初日の出（大洗町） 大洗海水浴場（大洗町）</p>

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
7.	歴史	<p>水戸市歴史的遺産エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい日本の歴史的風土100選（水戸徳川家の歴史的文化的遺産（偕楽園、千波湖、弘道館、水戸城址など） ・偕楽園（日観協A級資源） ・備前堀用水（疎水百選） <p>（所在地） 水戸市</p>	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸徳川家に縁のある偕楽園や千波湖、弘道館、備前堀等の歴史的景観資源が集積し、「美しい日本の歴史的風土100選、疎水百選」にも選定され県民に広く親しまれています。 ・水戸市では、平成3年度に水戸市都市景観基本計画を策定し、平成4年3月には「水戸市都市景観条例」を制定するなど、県内で最も早く独自の景観行政を実施してきました。さらに、平成14年度には備前堀沿道地区を都市景観重点地区に指定し、翌15年度から都市景観助成事業を開始し、市民が愛着と誇りを持てる水戸らしいまちづくりや地域の自然や歴史、文化等の特色を生かした景観まちづくりに取り組んでいます。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <p>平成18年7月に景観行政団体へと移行しました。今後、景観法に基づく景観計画の策定や景観条例の制定、屋外広告物条例の制定が予定されており、県都として風格のある景観まちづくりが期待されているところです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>千波湖 (水戸市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>備前用水 (水戸市)</p> </div> </div>
8	自然	<p>鹿島灘海岸エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波崎海岸 等 <p>（所在地） 神栖市、鉾田市</p>	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿島灘沿岸エリアは、180° 広がる太平洋の眺望と海洋性植物の豊かな自然資源に恵まれ、ハマナスの自生南限として知られています。 ・波崎町の波崎海岸や鉾田市の大竹海岸は、新年の初日の出の眺望や夏の海水浴場として、県内外から多くの観光客が訪れるなど県民に親しまれている。なお、海岸景観を楽しめる視点場として、神栖市の神栖海浜公園、鉾田市の鹿島灘海浜公園の展望台が整備されています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <p>海岸に接する市や地域住民と海岸管理者が一体となって、砂浜や防風林の維持管理など海岸清掃活動、海浜植物の保全活動等に取り組む必要があります。</p>

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
			 <p data-bbox="683 584 858 611">大竹海岸 (銚田市)</p> <p data-bbox="1031 584 1291 611">鹿島灘の初日の出 (神西市)</p>
9	自然	<p data-bbox="352 667 507 694">霞ヶ浦エリア</p> <ul data-bbox="376 701 655 792" style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦 (日観協B級資源、水郷筑波国定公園) ・城下町土浦 <p data-bbox="368 831 464 857">(所在地)</p> <p data-bbox="363 864 655 992">土浦市、行方市、石岡市、稲敷市、潮来市、小美玉市、かすみがうら市、阿見町、美浦村</p>	<p data-bbox="683 689 887 716">【広域景観の特徴】</p> <ul data-bbox="683 723 1382 1048" style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦は、本県東南部から千葉県北東部に広がる我が国第2位の淡水の湖で、水郷筑波国定公園に指定されており、霞ヶ浦越しに筑波山の眺望が楽しめるなど本県を代表する広域景観です。 ・特に、霞ヶ浦沿岸域の石岡市の高浜地区、小美玉市の高崎地区、行方市の天王崎地区、潮来市の権現山地区、阿見町の大室地区、美浦村の大須賀地区などは、霞ヶ浦越しに筑波山を眺望できる視点場として地域の人々に親しまれており、筑波山ベストビューコンテストにも数多くの応募があり、広く県民に認識された景勝地です。 <p data-bbox="683 1081 991 1108">【広域景観づくりの方向性】</p> <ul data-bbox="683 1115 1382 1339" style="list-style-type: none"> ・茨城県を代表する広域景観の保全・活用にあたっては、これらの視点場から霞ヶ浦越しに筑波山を眺望する視線軸上の景観阻害要素となる高層建築物や工作物、屋外広告物等については、広域レベルの景観形成基準や眺望景観を保全する重点眺望保全エリアの設定などの検討が必要です。 ・あわせて、主な視点場及び視点場に至るアクセス道路の景観まちづくりを推進していく必要があります。  <p data-bbox="683 1626 922 1653">帆曳舟と筑波山 (土浦市)</p> <p data-bbox="1031 1626 1278 1653">霞ヶ浦と筑波山 (阿見町)</p>
10	自然	<p data-bbox="352 1709 507 1736">筑波山エリア</p> <ul data-bbox="376 1742 655 1870" style="list-style-type: none"> ・筑波山 (日観協B級資源、日本百名山、水郷筑波国定公園) ・つくば道 (日本の道100選) <p data-bbox="368 1906 464 1933">(所在地)</p> <p data-bbox="363 1939 655 1966">つくば市、石岡市、桜川市</p>	<p data-bbox="683 1731 887 1758">【広域景観の特徴】</p> <ul data-bbox="683 1765 1382 1989" style="list-style-type: none"> ・日本百名山のひとつである筑波山は、水郷筑波国定公園に指定され、標高 877m で西側の男休山と東側の女休山からなる美しい山容から「西の富士、東の筑波」と並び称され、古くは万葉集にも詠まれた本県を代表する広域景観です。 ・山麓のつくば市、桜川市、石岡市からの眺望は勿論のこと、周辺地域からの眺望は多くの県民に親しまれ、近景から遠景までの山容が美しく、地域のシンボリックな景観です。

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
			<ul style="list-style-type: none"> ・筑波山ベストビューコンテストにおいては、最優秀2カ所に筑西市の母子島遊水池、つくば市・桜川市・土浦市のつくばりんりんロードが選出されるなど、563件の応募、1,228件の投票結果から筑波山の眺望景観に県民の高い関心が伺えます。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコンテストの視点場と筑波山の間を景観工学の観点から分析すると、日本の代表的な眺望地点から望まれる名山の仰角との関係にある俯角 5° ～13° (3.8km～10km) の領域内に、応募した視点場が数多く分布することが確認されました。これらの領域内の主要な視点場から筑波山の視線軸上の眺望領域では、筑波山の眺望景観を阻害する高層建築物、カントリーエレベーター等の建築物を主対象に、高さ規制、規模、色彩等について景観形成基準及び眺望景観保全エリアの設定、眺望を楽しむ視点場及び周辺地区の環境整備などの検討する必要があります。 ・また、筑波山山頂からの俯瞰景観についても、最も視線が集中しやすいとされる俯角 8° ～10° (5.6km～6.2km) の領域において、筑波山からの眺望景観（見下ろし景観）を確保するため、景観阻害要素となる建築物、大型工作物、自然地内の大規模な土地改変などの開発行為に関わる景観形成基準や眺望景観保全エリアの設定等を検討する必要があります。 ・特に、つくばエクスプレスの開業に伴って、日本百名山である筑波山の観光登山客は、今後ますます増大することが予想されことから、県土のイメージアップと観光振興、地域の生活環境の改善、景観まちづくりの推進の面からの検討も必要です。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>田園風景と筑波山 (つくば市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小貝川からの筑波山 (下妻市)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>母子島遊水池からの筑波山 (下妻市)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>結城富士 (結城市)</p> </div> </div>

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
11.	生活	筑波研究学園都市 <ul style="list-style-type: none"> ・筑波研究学園都市（都市景観100選） ・学園東大通り（日本の道100選） （所在地） つくば市	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1960年代に計画的な都市計画に基づいて建設された都市で、研究学園地区（約2,700ha）と周辺開発地区に大きく分けられ、国の都市景観100選に選出されるなど、景観ガイドライン（当時の住宅公団作成）に基づいて計画的な都市景観が形成され、国の「都市景観100選」に選ばれている。 ・また、初期に建設された研究学園地区住居エリアでは、公務員住宅や公団・公営住宅の建替えが進んでおり、周辺環境と調和した再整備計画が進行中です。 ・都心地区（センター地区）では、首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス線つくば駅周辺に、市役所などの公共施設、百貨店などの商業施設、国際会議場等が集積し、美しく、賑わいのある近代的な都市景観が形成されています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくばエクスプレスの開業に伴い、周辺地域に大規模マンションをはじめとする高層建築物の建設が相次いでおり、景観計画に基づく景観形成基準の適用、官民の役割分担と責務に基づいた景観まちづくりが今後必要です。 ・つくば市は、平成17年8月24日に景観行政団体へと移行、つくば市景観条例、つくば市景観計画を平成19年10月1日全面施行し、景観計画に基づいた景観誘導に取り組んでおり、その成果が期待されています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>学園東大通り（つくば市） 学園都市の市街地景観（つくば市）</p>
12.	生活	水郷エリア <ul style="list-style-type: none"> ・水郷潮来 ・水郷牛堀 ・横利根閘門（国指定重要文化財） （所在地） 潮来市、稲敷市	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮来と十六島一帯は「水郷」と呼ばれ、霞ヶ浦流域、利根川流域を含めた水郷エリアは、情緒豊かな景観・文化を生み出し、あやめの咲く6月の「水郷潮来あやめ祭り」には、数十万人の観光客が水郷を訪れています。 ・十二橋は、十六島地区の加藤洲に形成された地域独自のもので、舟による十二橋巡りなど水郷情緒を楽しむ水郷観光の目玉です。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <p>現状をみると、観光宣伝等の屋外広告物や周辺の歴史・文化的環境にそぐわない建物などが無秩序に立地し、情緒あふれる水郷イメージを損ねている地区も見られるなど、地域のイメージアップにつながる水郷景観を生かした景観まちづくりを検討する必要があります。</p>

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
			 <p data-bbox="679 618 922 645">前川と水辺景観（潮来市）</p> <p data-bbox="1034 618 1235 645">横利根閘門（稲敷市）</p>
13.	産業	茨城空港 (所在地) 小美玉市	<p data-bbox="679 725 890 752">【広域景観の特徴】</p> <p data-bbox="679 757 1378 853">平成 21 年の開港に向けて、百里飛行場の民間共用化を推進しており、空の玄関口として観光客等に本県の第一印象を与える重要な空間です。</p> <p data-bbox="679 882 991 909">【広域景観づくりの方向性】</p> <p data-bbox="679 913 1378 1041">今後、ターミナルビル、エアフロントだけでなく、周辺地域の開発が進むものと予想されることから、大規模施設、大規模開発を想定した景観ガイドラインを検討する必要があります。</p>
14.	産業	つくばエクスプレス沿線 (所在地) つくば市、守谷市、つくばみらい市	<p data-bbox="679 1120 890 1146">【広域景観の特徴】</p> <ul data-bbox="679 1151 1378 1413" style="list-style-type: none"> ・秋葉原駅とつくば駅の約 58.3km を 45 分で直結する新たな鉄道で、平成 17 年 8 月に開業しました。つくばエクスプレス沿線では、8 地区、約 1,700ha にわたって土地地区画整理事業によるまちづくりが推進されています。 ・このまちづくりでは、沿線地域の豊かな自然環境とつくば研究学園都市の先進性を生かしながら、電線の地中化やユニバーサルデザインを採用するなど先駆的な取り組みがなされています。 <p data-bbox="679 1442 991 1469">【広域景観づくりの方向性】</p> <ul data-bbox="679 1473 1378 1800" style="list-style-type: none"> ・沿線開発に伴って景観への影響が大きい大規模マンション等の高層建築物の建設が相次いでおり、筑波山を生かした景観まちづくりや景観計画に基づく景観形成基準、官民の役割分担など、計画的な取り組みが必要であると考えます。 ・守谷市は、平成 17 年 8 月 24 日に景観行政団体へと移行し、景観計画区域は守谷市全域。景観計画区域内において行う一定規模以上の建築物の建築、工作物の建設、開発行為など景観計画に定めた景観誘導を図っていくこととしています。 ・なお、地域が連携して景観まちづくりに取り組むためには、つくばみらい市の景観行政団体への移行が望まれます。

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
15	自然	利根川 (所在地) 取手市、古河市、五霞町、 境町、坂東市、守谷市、 利根町、河内町、神栖市	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利根川は、群馬県水上町に端を發し、関東平野を北西から南東に流れ、埼玉県、千葉県境を流れ、県土の骨格を形成する日本第2位の長さを誇る河川です。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域の9市町では、地域を代表する景観資源に挙げており、利根川の広域景観の保全については、河川管理者である国と流域市町、地域住民が一体となって、河川清掃等の河川愛護活動に取り組む必要があります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 夕日と利根川 (河内町) 河川敷からの利根川 (坂東市) </p>
16	自然	福岡堰と桜並木 ・福岡堰 (疎水百選) (所在地) つくばみらい市	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡堰は、水海道市との境に位置し、岡堰、豊田堰とともに関東三大堰に数えられ、国の「疎水百選」に選ばれています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小貝川と堰から流れる用水の間の堤には約 550 本の桜が、1.8km にわたって整備され、開花期には約 20 万人の観光客で賑わうなど、「茨城百景、茨城観光 100 選、茨城 45 景 (S29 年 11 月茨城新聞社)、茨城の自然百選 (H 元年 2 月朝日新聞社、茨城県、茨城放送認定)」にも選定されるなど、広く県民に認識され、親しまれた本県を代表する広域景観であり、周辺の景観資源と併せた地域振興や観光振興等の活用方策を検討する必要があります。 <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">福岡堰の桜堤 (つくばみらい市)</p>

No	景観分類	広域景観の名称 主な広域景観資源	広域景観の特徴と広域景観づくりの方向性
17	自然	牛久沼とカップの碑周辺の樹林 (所在地) 龍ヶ崎市、牛久市	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久沼は、龍ヶ崎市と牛久市に位置し、5市に囲まれている湖沼で、流入河川は根古屋川をはじめ5本が流入し、カップ伝説が有名である。また、コブハクチョウやオオヨシキリなどの野鳥の宝庫としても知られており、周辺の樹林地と一体となって豊かな自然景観を形成しています。 龍ヶ崎市の牛久沼水辺公園から眺望する筑波山、牛久市の三日月橋周辺の桜並木の他、周辺の田園景観と一体となって本県を代表する広域景観として多くの県民に親しまれています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 牛久沼大橋付近では、のどかな湖沼と田園景観を阻害する高層建築物が湖畔に見られるなど、良好な自然景観を保全・育成するための景観形成基準、景観ガイドラインを検討する必要があります。 なお、牛久市は、平成19年4月1日に景観行政団体に移行しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>牛久沼水辺公園（龍ヶ崎市） 城中町からの牛久沼（牛久市）</p>
18	歴史	県西の歴史的街並みエリア <ul style="list-style-type: none"> 美しい日本の歴史的風土準100選（陣屋町真壁の歴史的街並み） 古河市、結城市、筑西市の街並み 桜川のサクラ（国指定天然記念物） 桜川（サクラ）（国指定名勝） 古河市、結城市、筑西市の街並み (所在地) 桜川市、結城市、筑西市	<p>【広域景観の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県西エリアは、桜川市の真壁地区、結城市の間屋街通り、筑西市下館地区に蔵のある歴史的な街並みが数多く保存され、日常生活の中で活用されるなど、多くの市民や県民に親しまれ県内外からの街巡りを楽しむ観光客に人気があります。 特に、桜川市真壁地区飯塚通りに代表される歴史的街並は、「美しい日本の歴史的風土準100選」に選ばれ、江戸時代から明治、大正、昭和初期の建築物が集積するなど築50年以上の蔵や門、住宅が約260箇所所在し、国の登録文化財に104箇所指定され、全国で第3位の登録文化財の数の多さを誇るなど、地域の観光振興にも大きく寄与しています。 また、磯部稲村神社の参道をはさんで、両側約1kmに及ぶ桜の並木は、古くから磯部の百色桜、謡曲「桜川」の舞台として知られとして知られ、県民に広く親しまれたサクラの名所です。 サクラの種類は、東北産のシロヤマザクラが中心で、品種も桜川匂・樺匂・梅鉢桜・白雲桜・薄毛桜・初見桜・初重桜・源氏桜・大和桜・青毛桜・青桜などがあり、国の天然記念物や指定名勝にも指定されています。 <p>【広域景観づくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、これらの市では、行政と地域住民が協力、連携して、